

ＪＩＣＡ２０１７年度トルコ国別研修

「地域開発に係る地方行政官の能力開発プロジェクト」コースを受け入れました。

平成２９年７月３日から７月２１日にかけて、トルコ共和国内務省の行政官１２名が参加する研修を受け入れました。

トルコでは地域格差を是正するために、各地域の資源や特色を有効に利用した地域開発のビジョンが必要とされており、県知事、郡長として地方を統治する内務省地方幹部行政官は、広域的な地域開発の知見を深めることが求められています。

北海道開発局は、国が注力した北海道総合開発の経験を伝えることはトルコにおける地域開発の質の向上に資するとの考えによりＪＩＣＡから依頼を受け、現役の副知事または郡長を務めるトルコ内務省の行政官を対象とした本研修の実施に協力いたしました。

なお、本研修は平成２９年１月から２月にかけても実施されており、今回で２回目の開催となりました。

【北海道開発局長表敬訪問】



局長に記念品を渡すイスタンブール県
ジョラブ副知事



懇談の様子 局長に質問するアンカラ県
ボラットル郡 トウンチェル郡長

【研修の様子】

研修プログラムは、北海道総合開発の紹介をはじめとして、道の駅、シーニックバイウェイ、民族共生の象徴となる空間の整備、小樽港の整備といった当局が実施する事業について、職員が講師となり講義を実施したほか、先進的な地域開発の取り組みについて学ぶため、地方自治体や社会福祉法人にご協力を賜り各地を視察しました。

本研修は前回に引き続き、前釧路公立大学学長 小磯修二氏をコースリーダーにお迎えし、研修員が赴任地域で抱える課題についてコメントやアドバイスをいただいたほか、研修終盤では「観光による地域開発」として同氏が釧路・根室地方で取り組まれた観光による経済効果に関する調査研究についてご講義をいただき、研修員との活発な意見交換が行われました。



講義「北海道の総合開発の体制」



講義「観光による地域開発」

【アクションプラン発表会】



(写真提供：研修受託機関 公益財団法人はまなす財団)

研修最終日に開催されたアクションプラン発表会では、北海道で学んだ様々な地域開発をトルコにおいてどのように活かして行くのか、各研修員から「アクションプラン」が発表されました。

左写真：ハタイ県ベレン郡 アイドゥン郡長
赴任地が「目的として来てもらえる街」となるように、視察で訪れた道の駅ウトナイ湖や花ロードえにわのような道の駅をつくりたいと発表。

【閉講式】



JICA 北海道 所長から修了証書の授与



研修員代表の挨拶



閉講式では、JICA 北海道 所長から各研修員に修了証書が授与され、北海道開発局からは開発監理部次長が本研修協力機関としてご挨拶を申し上げます。研修員代表からは本研修関係者への感謝の意と、研修内容を今後の業務において活用していくことへの抱負が述べられました。

本研修の北海道での滞在期間は約2週間と短いものではありませんでしたが、北海道総合開発の経験や、各地の地域開発の取り組みがトルコにおいて活かされることが期待されます。